

『日本橋三越』 国際規格
「ISO14001（環境マネジメントシステム）」を取得

三越では、（１）お客様第一主義に基づく企業三越としての社会貢献活動強化
（２）企業の持続的な成長に不可欠なマネジメントの確立による働き方の改革
（３）高質小売業としての企業イメージの向上----の3点を基本コンセプトとして、『日本橋三越』（日本橋本店・本社・営業本部）で国際規格「ISO14001」（環境マネジメントシステム）の認証に向け、取り組みを行ってまいりましたが、5月16日（金）、審査登録機関である財団法人日本品質保証機構から認証を受け、本日、日本橋本店において認証状の授与式が行われましたのでお知らせいたします。

三越は今後、全店でのISO14001の取得をめざしてまいります。また今回の取得を契機として、全店でさらに積極的に環境問題に取り組むことで、企業としての社会的な責任を果たしていきたいと考えています。

三越の環境問題への取り組み



三越では1992年に全社横断的な組織「環境推進委員会」を設置し、環境問題に取り組んできました。活動推進にあたっては、（１）適正包装の推進（２）商品販売と開発（３）廃棄物削減とリサイクル（４）エネルギー使用量の削減----からなる「環境推進4項目」を掲げ、重点的に取り組んできました。また97年から「三越環境レポート」を発刊し、最新号はホームページでもご覧いただけます。

http://www.mitsukoshi.co.jp/corp_info/profile/eco.html

（１）適正包装の推進

「三越マイバッグキャンペーン」

1999年12月、繰り返しお買い物にご利用いただける三越バッグ（477円・税別）の販売を開始し、「三越マイバッグキャンペーン」を行っています。

このキャンペーンは、お買い物の際、紙製の手提げ袋やレジ袋の代わりに三越バッグをお使いいただくと、マイバッグに添付されているスタンプカードに1日1個スタンプを捺印するもので、スタンプが10個たまると非売品の三越バッグ（レギュラー・ミニサイズ）などと交換するものです。

三越バッグは発売以来、累計販売枚数（4月末現在）が59万5千枚に達し、引き換え数も22万個に達するなど、お客様の認知度も高まっています。



「適正包装の推進」

社内的には「エコ包装15原則」を定め、これに基づく簡易包装を推進しています。また包装資材の改良などにより、従来のエコ包装以外の面からのアプローチを試みています。

（２）商品販売と開発

三越オリジナル商品として販売している「三越生活御用達コンパクト粉せっけん」は、純石けん分に廃食用油を100%使用したエコマーク商品です。

また2003年中元期からは、新たに「三越環境配慮商品基準」を設け、これをクリアした商品を「エコファント商品」として認定し、お客様にご提案しています。今回の中元カタログでは10企画21定番が登場しています。



「エコファント」とは、三越が地球環境保全に取り組み、それをアピールするうえで親しみやすく、わかりやすい環境キャラクターとして1992年に誕生しました。

アフリカ象を環境保全のモチーフとしてキャラクタライズしたもので、胸の「e」マーク、鼻の「e」サインは、Ecology(エコロジー)とEarth(地球)を表しています。

社内的には1992年発行のエコロジーマニュアルに初登場しましたが、一般のお客様にお目見えしたのは

2002年版環境レポート(2002年9月発行)からです。

（３）廃棄物削減とリサイクル

廃棄物の削減を図るために事務用紙の使用量や伝票類の削減に取り組んでいます。またリサイクル率の向上を図るため、廃棄物分別の徹底や食品廃棄物計量器の導入などを実施しています。

（４）エネルギー使用量の削減

営業日数・営業時間の拡大や、温暖化傾向による冷暖房装置の増強など、エネルギー使用の増加要因が多い状況の下、全店を挙げて省エネ運動に取り組んでいます。昨今の電力事情を受け、地域の皆さまに親しまれてきた日本橋本店外壁のイルミネーションを、5月20日から当面の間、消灯することにしました。

以上